

# NLP2025 Word テンプレートサンプル文書

## (『自然言語処理』掲載論文ポスター発表用)

佐藤□□□<sup>1</sup> 鈴木□□□<sup>1</sup> 高橋□□□<sup>2</sup> 田中□□□□<sup>4</sup>  
伊藤□□□<sup>1,3,4</sup> 渡辺□□□□<sup>1,3,4</sup>  
<sup>1</sup>○○○○○○○○○○○○○○○○大学大学院 <sup>2</sup>△△△△△△△△大学 言語処理学部  
<sup>3</sup>△△△△△△△△△△△△△△△△株式会社 <sup>4</sup>○○○○○○○研究所  
{sato, suzuki, ito}@example1.jp takahashi@example2.jp  
{tanaka, watanabe}@example3.jp

### 掲載号の情報

31 巻 x 号 pp. XXX-XXX.

Doi: <https://doi.org/10.5715/jnlp.31.xxx>

### 概要

掲載論文の巻号・ページ・doi などを書いた後、ここに掲載論文の概要を書いてください。フォーマットそのものは基本的に一般論文と同じです。ただし、必ず 1 ページ以内に収めてください。

説明のために図 (図 1 を参照) や表 (表 1 を参照) を追加することは可能です。参考文献も追加して構いません [1]。数式

$$P(B|A) = \frac{P(A|B)P(B)}{P(A)}$$

や箇条書き

- 第 1 の項目
- 第 2 の項目

を含んでも構いません。補足情報を入れるために脚注(footnote)を利用することができます<sup>i</sup>。といった構造も用いられるが、LaTeX 版ではこれらもよく知られた文書クラス (例えば jsarticle 等) と同様のシンタックスで利用できる。

Word で作成する場合も一般論文のスタイルと同じ条件で作成してください。最終的にはこちらでヘッダーやフッターを入れるため、上下 3 cm, 左右 2 cm 以上の余白を確保してください。概要は英語でも構いません。

This paragraph shows an English sample. There is no problem with writing your manuscript in English. If you write in LaTeX, please use the distributed document class with the english option:

```
¥documentclass[  
  platex, dvipdfmx, english]{nlp2025}
```

Any changes on the document class (.cls) are prohibited. If you write in Microsoft Word, please use the distributed sample file without changing its layout. Using “Times New Roman” is suggested.



図 1 何らかの図

表 1 適当な表

日本語	Japanese
英語	English

### 参考文献

[1] FirstName LastName. Title of the article. Journal of Natural Language Processing, Vol. 13, No. 1, pp. 251–258, 2006.

<sup>i</sup> 脚注の例である。